



砂防事業マスコットキャラクター「Mr.エンテ」

鳥越川1号砂防堰堤(広島市安佐南区緑井8丁目)の土砂撤去が10月4日に完了しました。

■ 土石流発生直後 (R3.8.19撮影) (R3.8.15撮影)



■ 土砂撤去完了後の状況(R3.10.8撮影)



堰堤内の流木・土砂撤去作業について

土砂撤去を早期に完了させるため、バックホウで掘削した土砂をキャリーダンプで堰堤袖部まで運搬し、袖部から法面上を滑らせて落とし、再度バックホウでダンプに積み込んで場外へ搬出しました。



堤内に浮遊している流木類を簡易いかだを使用して集積・撤去



堤内の土砂をバックホウで掘削し、キャリーダンプへの積み込み



堰堤袖部まで運搬し、袖部から法面(のりめん)下へ土砂を落とす



バックホウでダンプトラックに積み込み場外へ搬出



技術者魂を作成しました

技術者魂とは、地域の安全・安心につながる砂防堰堤事業の推進に取り組む技術者の紹介です。技術者がどのような意気込みで取り組んでいるか、普段の一面も合わせて紹介します。

鳥越川1号砂防堰堤の応急対策工事(土砂等撤去)を施工した山陽工業(株)さんです。

砂防堰堤
工事に取り組む
技術者魂

土石流を万全に食い止めるために

9月4日から堰堤上流側に溜まった土砂等の撤去作業を開始。
10月4日堰堤上流側に溜まった土砂等の撤去完了。
撤去土砂実績量 約4,500m³



○休日の過ごし方

友人とイカ釣りを始めました。
釣果はまだありませんが、釣りに集中すると仕事のことを一時忘れられるのでリフレッシュできています。

監理技術者

増本 剛士

令和3年8月15日撮影

8月12日からの大雨により土石流が発生したが、砂防堰堤で土砂及び流木を捕捉し、下流地区への被害を未然に防止した。(参考:対象渓流の土砂災害警戒区域内の人家戸数252戸)
今回発生した流出量は、当該砂防堰堤の堆砂容量V=約25,000m³のうちV=4,500m³でしたが、さらなる大雨への影響を万全に期すため、早期着手、早期完了に努めました。

どりがえかわ さぼうえんてい

工事名: 令和3年度広島西部山系鳥越川1号砂防堰堤応急対策工事【堆積した土石流を撤去する工事】

発注者: 中国地方整備局
広島西部山系砂防事務所

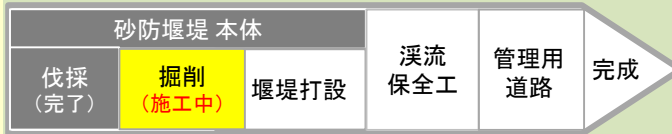
受注者:



工事箇所 イメージ



5043溪流砂防堰堤工事 (神楽田2号砂防堰堤)



近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、引き続き、よろしくお願いいたします。



307溪流管理用道路外工事(施工：宮田建設(株))ではICT(情報通信技術)を活用した取り組みを行っています。(広島市安佐南区八木4丁目)

3次元設計データの作成

ドローンで計測した点群データから3次元設計データを作成。
掘削する形状

↓ドローンで計測した箇所

ICT 建設機械で施工の様子

掘り過ぎないように自動制御されている。

GPSから位置座標情報を受信しながら、3次元設計データに基づいて施工

進捗状況の確認

専用アプリで現場のICT建設機械から送られたデータを地図上に重ね、掘削した状況を色で表示した画面(2次元)
(赤(未着手) 0%~黄色50%~緑100% (完了))

設計データ通りに施工した現場

広島西部山系砂防事務所 広島西部砂防八木出張所

所在地：広島市安佐南区八木5丁目31-1
連絡先：082-830-2367
■ 本誌・八木・緑井地区担当：岡本 功



ホームページはこちらから！



Twitter
タイムリーな情報を掲載しています！

西部山系

検索

西部山系

ツイッター

検索